大高応援通信 **心清らVictory** 31勝目 平成30年 10月 18日

《ﾊﾞﾚｰ・ﾊﾞｽｹに補助員として参加した生徒の感想》

・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙでﾗｲﾝｼﾞｬｯｼﾞをした。耳が聞こえなくても健常者と同じような素晴らしいﾌﾟﾚｰをしている人ばかりで驚いた。ｺｰﾄ内は静かだったけれど、見ていて気迫の伝わる試合だった。手話やｱｲｺﾝﾀｸﾄなどを使ってｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを取っていて感心した。

・僕達はﾊﾞﾚｰをするとき、声をかけて連携するけれど、その声がない状態で、上手く連携を取っていて、たくさん練習をしてきたんだろうなと思いました。

・試合で使うﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙが汚れたら拭くという仕事をした。少し地味な仕事だと思っていたけれど、ﾎﾞｰﾙが少しでも汚れていたら人によってはﾌﾟﾚｰが乱れたりすることがわかり、自分も気の抜けない仕事を任された補助員であることが実感できた。

・ﾊﾞﾚｰの線審をしました。耳の聞こえない選手に情報伝達をすることは難しかったですが、できることを精一杯頑張り、無事終えることができてよかったです。

・障害者ﾊﾞｽｹの TO(ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙ)をしました。責任重大な仕事で、ずっと前から練習してきましたが、とても緊張しました。しかし、反省・改善をして 5 回の TO をしっかりできたのでよかったです。試合を見てもどこも私たちと変わらないようなﾌﾟﾚｰをしていました。最後まで諦めない姿がとても印象に残りました。

・試合の記録を取る係(TO)だったのですが、2 日間の障ｽﾎﾟを通して思ったことは、人は 1 人では生きていけないということです。ｽｺｱﾗｰは、試合中ずっと集中して周りを見ていなくてはならなくて、忙しい時は、書くことやﾌﾞｻﾞｰを鳴らすことが多くなり、1 人では全てのことを全うすることは大変になります。私も慌てた場面では､1 人ではﾐｽを絶対にしてしまうところだったけれど､TO の主任の方、同じ TO のﾒﾝﾊﾞｰの子にたくさん助けてもらいながら、2 日間を終えることができました。多少のﾐｽはしてしまったけれど、試合をｽﾑｰｽﾞに進めることができたのは、周りの人のおかげです。

・たくさんの県のﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙの試合を目の前で観ることができて良かったし、みんな一生懸命頑張っていてとてもかっこ良かった。こんなに上手い人の試合を生で見るという経験はなかなかないと思うので、いい経験ができた。自分でできることや、頑張りたいと決めたことをやり続けたいと思った。
福井県の役に立てて良かった。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。